

2019 年度事業計画(案)

施設・事業所名 グループホーム支援センターにじ

実施する福祉サービスなど

福祉サービス事業	利用定員 A	一日平均の 利用者数 B	年間の事業 実施予定日 C	実利用目標 (年間述人数) D	利用率目標 (D/A×C) E
共同生活援助	63 名	60 名	366 日	21845 名	95%
	名	名	日	名	%
	名	名	日	名	%
	名	名	日	名	%

職員体制(4 月 1 日)

職 種	員 数	区 分				常勤換 算後の 職員数	摘 要
		常 勤		非常勤			
		専従	兼任	専従	兼任		
管理者	1		1				
サービス管理責任者	2		2				
世話人	18	4	6	8		12.4	
生活支援員	16	2	9	5		11.0	
看護師	1			1		0.1	
その他							
合 計							

重点推進目標(3 点)

<p>○ 小樽地区、地域生活支援体制の再構築 (定員 60 名→63 名)</p> <p>・福祉ホーム(マリノシップさくら)の事業を終了し、現在利用しているメンバー(3 名)については新たなグループホームを設置し居住の場を設ける。※ 新規に女性のグループホームを設置予定</p> <p>○ 利用者の重度化に伴う消防設備対応 (スプリンクラーの設置義務等)による住居の移転 対象住居 → GH みずき GH らいと</p>
<p>○ 重度・高齢化に伴う健康管理の充実を図る</p> <p>利用者の重度・高齢化に伴い、生活習慣病関係の通院が増加傾向にあり、健康管理・通院対応、服薬支援を適切に実施する。</p> <p>健康増進法の一部改正に伴う受動喫煙防止対策の対応を進める。</p>
<p>○ 地域生活者の個別支援の充実</p> <p>地域生活者の多様化するニーズに対応し、健康の増進、就労の継続のサポート、余暇活動の充実、金銭管理等を支援する。</p>

施設整備計画

○新規グループホーム設置(賃貸物件) 1件 ①マリニシップさくら→女性ホーム	【予定額】 500,000 円
○利用者の重度化に伴う消防設備対応 2件 (スプリンクラーの設置義務等)による住居の移転 中古物件を購入しスプリンクラーの設置を含む修繕を実施	【予定額】 30,000,000 円
○パソコン更新 2台	【予定額】 300,000 円

設備整備計画(車輛更新含む)

○受動喫煙防止対策 喫煙スペース・集煙機等 (8 ホーム対象)	【予定額】 600,000 円
○	【予定額】 千円
○	【予定額】 千円

支援計画

<p>□ 日常生活支援</p> <p>(目標)</p> <p>①基本的な生活習慣を確保し社会的に自立した生活ができる支援を提供する。</p> <p>②安心した日常生活を過ごすことが出来るよう相談支援を提供する。</p> <p>③家事・介護等については、利用者の心身の状況に応じて利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう適切に行うものとする。</p> <p>(主な取り組み)</p> <p>利用者の状態・特性に応じた支援</p> <p>身体介助 買い物引率 買い物訓練 外出引率 外出訓練 ガイドヘルパー手配</p> <p>金銭取扱のアドバイス・ 金銭使用状況のチェック 生活経費の情報提供。</p> <p>(具体的な生活)</p> <p>食事</p> <p>個別の利用者支援では看護師・栄養士も参加した定例のケース会議を実施</p> <p>生活習慣病対策にも力を入れた食事の提供</p> <p>相談業務</p> <p>対人関係上のトラブル、健康管理、地域生活での困り事等に関する各種相談には迅速に対応</p> <p>特に、困り事は早期解決にポイントを置く</p> <p>余暇支援</p> <p>全体行事として、交流会を年1回実施。</p> <p>余暇活動の機会を広げるためガイドヘルパーを申請・手配し個別の要望に対応</p> <p>旅行・コンサート・スポーツ観戦。買い物・帰省時の引率など</p> <p>一般就労者むけの一泊旅行を継続実施。</p>

□ 居住環境整備

（目標）

小樽地区、地域生活支援体制の再構築

福祉ホーム(マリニシップさくら)の事業を終了し、現在利用しているメンバーについては新たなグループホームを設置。※ 新規に女性(3名)のグループホームを建設予定

利用者の重度化に伴う消防設備対応 2件 (スプリンクラーの設置義務等)による住居の移転中古物件を購入しスプリンクラーの設置を含む修繕を実施。

健康増進法の一部改正に伴う受動喫煙防止対策の対応を進める。

□ 保健医療

（目標）

日常的な健康維持に配慮し、体力の維持・向上をはかるための支援を提供する。

健康に対する知識を獲得し、自らの健康を守ることの大切さを自覚出来る支援を提供する。

（主な取り組み）

看護師については和光学園と連携。

健康診断・各種検診の手配・実施 小樽市の制度等を利用者に周知し実施。大腸癌検診も追加
バイタルチェック・体重測定を習慣化しデーター化、看護師が健康チェックを実施

感染症対策 インフルエンザ予防接種の手配・実施を支援 消毒グッズの配置。

（具体的な提供内容）

健康管理

嘱託医による検診による診察・疾病予防健康管理を行う。服薬管理、通院治療、常時の服薬介助及び個別疾患に応じた通院治療への支援を行う。

通院引率。投薬管理の実施。各グループホームの世話人と連携を取り実施 入院時には安心した入院生活を送ってもらうため巡回し、適宜迅速な支援を行う。

感染症対策 各グループホーム毎に消毒液やマスクを準備する

□ 社会生活支援

（目標）

個別的なコミュニケーション手段を工夫し、自己管理が可能な力を確保出来るような支援を提供する。

日常の社会生活が個々人の希望が尊重されたものとなるような個別的支援を提供する。

障害の重たい方への対応

休日の余暇活動を

（主な取り組み）

日常・社会生活上の支援

本人の希望を尊重した支援計画に基づく地域生活支援を提供する。

利用者・家族との連携を深める為、交流の機会を大切にする。

一般就労者の生活面の状況について、事業所訪問を行い、協力依頼を行う。

各種社会サービスの利用が円滑に行われるよう申請書類作成の補助・代行・申請時の同行を行う

□ 地域生活支援

（目標）

地域生活をする利用者が安心して生き生きと毎日の生活を送ることができるサービスを提供する。

（主な取り組み）

夜間緊急時の連絡体制を整備、職員が交代で携帯電話を所持し利用者からのSOSに備える。

グループホーム行事、町内会行事の参加、利用者研修会への参加。

(支援の内容)

共同生活住居における地域生活支援

バックアップ施設(和光学園)、寮支援員と連携し日常生活のサービスを提供する

*金銭管理・買い物・公共機関及び公共交通機関の利用等、個人の能力を伸ばす為マンツーマンでの実地指導等の支援を実施。

地域での支援体制確立のための基盤整備

*毎月1回定期的なグループカウンセリング(寮支援員会議)の開催

*研修参加において他事業所の支援者との交流や支援技術の学習の機会を提供し寮支援員のスキルアップを図る

相談支援事業

利用者の日々の不安を解消するために、本人達からの依頼があった場合には極力その場で相談を受ける。又、日々の状況を見守りする中で本人が困っているような時はさりげない会話の中から不安の相談にのるなど、随時、状況の把握に努め必要に応じて相談に対応。

□ 就労者支援

(目標)

地域生活をする利用者が安心して働ける生活場面の設定

(主な取り組み)

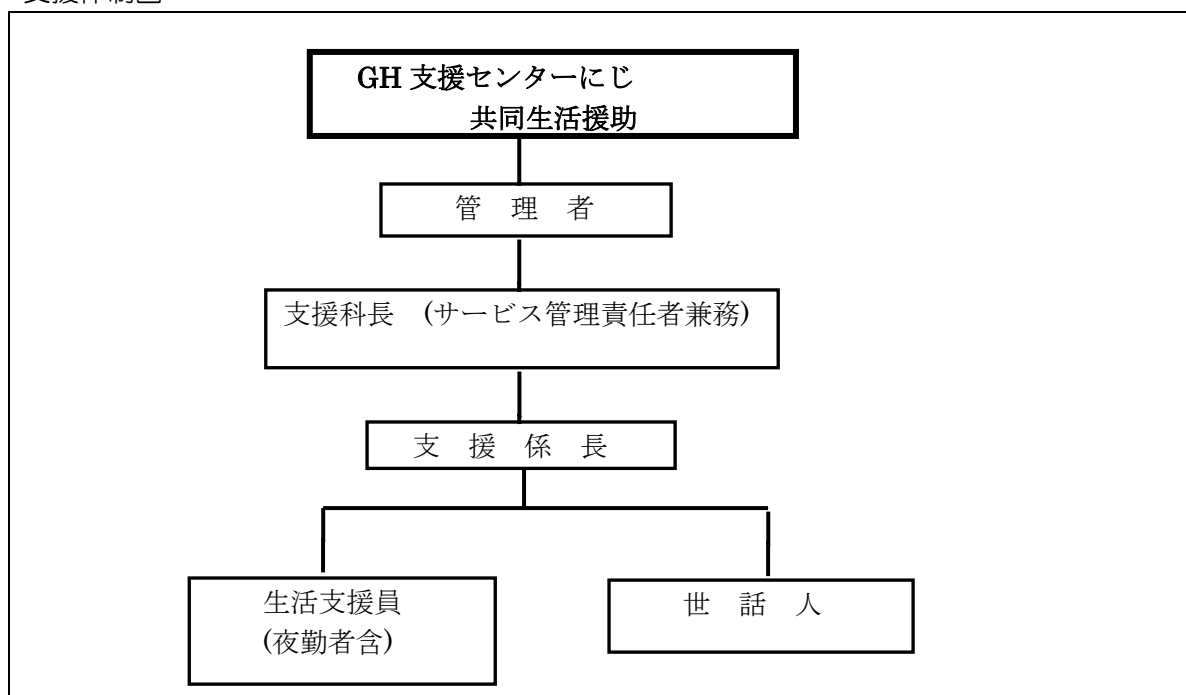
就労者の支援については、ウエルサポート和光と連携し、側面から支援を実施

すでに就労している方については、仕事が継続できるようにじが主体となりアドバイスや環境整備を行う。

(支援の内容)

社会手続き・金銭管理・健康管理・通院・買い物・メンタルケア等に関する相談支援、買い物・通院同行支援、職場との調整等のサポート

支援体制図



主な行事実施計画

行事名	実施日	摘 要
春のレクリエーション大会	6月初旬	和光グループ全体で実施
和光フェスティバル	9月中旬	和光グループ全体で実施
一泊旅行	夏～秋頃	一般就労者対象で実施
全体交流会		にじ行事
各グループホーム行事		年 2 回

平成 31 年度の会議・委員会等の開催計画

会議・委員会	実施日	摘 要
和光グループ経営会議	毎月第 2、4 月曜	和光グループ各施設長、部長職参加対象
和光グループ日中活動再編委員会	毎月 1 回	和光グループ関係施設長
和光グループ運営会議	毎月 2 回	和光グループ各事業所科長職
にじ会議	毎月 1 回	全職員（寮支援員は除く）
グループカウンセリング	毎月 1 回	全職員
個別支援計画策定会議	9 月 3 月	全職員（寮支援員は除く）
個別支援計画関係者会議	随時	全職員（寮支援員は除く）
事故防止対策会議	随時	全職員（寮支援員は除く）
虐待防止委員会		にじ会議の中で実施
リスクマネジメント委員会	毎月第 4 水曜日	にじ会議の中で実施
ケース会議	毎月第 4 水曜日	にじ会議の中で実施

平成 31 年度の研修計画(施設・事業所内研修)

研修名	実施日	摘 要
法人職員研修会		全職員対象
内部研修（月間重点目標）	毎月 1 回	にじ定例会議にて実施
法人新任職員研修		未定
法人 3 年目職員研修		未定
法人 6～7 年目研修		未定
和光 G 新春研修		全職員対象
和光 G 新任職員研修		未定
和光 G フォローアップ研修		未定

平成 31 年度の研修計画(外部研修)

研修名	実施日	摘 要
全国知的障害者施設長研修		
全道施設長セミナー		
全道グループホームスタッフ研修会		
虐待防止・権利擁護セミナー		
全国グループホームスタッフ研修会		
全道グループホーム新任職員研修		
幹部職員研修		
グループホーム学会研修		

平成 30 年度の権利擁護の推進方針

法人共通の「安心と笑顔支援マニュアル」に基づき、虐待防止への継続した取組及び権利擁護の推進を図る。

呼称（さんづけ）の徹底への取組継続実施。

毎月定例での虐待防止委員会の開催。

内部研修会の開催。

虐待防止チェックリストの実施。

外部研修会への参加等

ネイバースクラブの皆さんによる利用者からの聞き取りの実施等

平成 30 年度のコミュニケーション面談実施計画

全職員と個別に面談を実施し仕事への思い、提案、要望等確認を行い働く意欲の向上、円滑なコミュニケーションが行える職場を目指し実施する。

実施時期 平成 30 年 1 ～ 2 月

対象職員 グループホーム支援センターにじ 全職員

面談者 管理者 科長

場 所 グループホーム支援センターにじ 相談室他

職員健康診断実施計画

年 2 回全職員対象実施予定

年 1 回特定業務従事者検診(夜勤、宿直実施職員対象)予定

施設・事業所の構造

建 物	構 造	木造 地上 2 階建て
	延べ面積	延べ床面積 140.77 m ²
敷地面積		24,238.65 m ²